

**SQUARE ENIX®****平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)**

平成 19 年 1 月 30 日

上場会社名 株式会社スクウェア・エニックス
コード番号 9684上場取引所 東京証券取引所
本社所在都道府県 東京都(URL <http://www.square-enix.com/>)代表者 役職名 代表取締役社長
問合せ先責任者 役職名 取締役氏名 和田洋一
氏名 松田洋祐

TEL (03)5333-1555 (代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：有
連結（新規）1社（SQUARE ENIX OF AMERICA HOLDINGS, INC）

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況**(1) 経営成績(連結)の進捗状況**

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期 第 3 四半期	123,035	(78.3)	19,656	(210.3)	20,228	(191.6)	9,095	(111.9)
18 年 3 月期 第 3 四半期	68,994	(13.2)	6,334	(△75.5)	6,936	(△73.1)	4,291	(△67.7)
(参考) 18 年 3 月期	124,473		15,470		15,547		17,076	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期 第 3 四半期	82	26	81	88
18 年 3 月期 第 3 四半期	38	88	38	57
(参考) 18 年 3 月期	154	65	153	44

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性情報等]

当第 3 四半期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日：以下同じ）の当社連結グループの業績は、売上高は 1,230 億 35 百万円（前年同期比 78.3%増）、営業利益は 196 億 56 百万円（前年同期比 210.3%増）、経常利益は 202 億 28 百万円（前年同期比 191.6%増）、当第 3 四半期純利益は 90 億 95 百万円（前年同期比 111.9%増）となりました。

四半期業績は、年度内のタイトルリリースタイミング等によって大きく変動いたします。

ゲーム事業

ゲームコンソール(携帯ゲーム機含む)を対象としたゲームの企画、開発及び販売を行っております。また、日本で開発、販売したゲームは、翻訳等のローカライズ作業を施し、北米へは主に連結子会社の SQUARE ENIX, INC. を通じて販売しております。また、欧州、アジア等へは前連結会計年度まで主として有力パブリッシャーへの販売許諾を行うことにより販売していましたが、欧州への販売については、当連結会計年度より連結子会社の SQUARE ENIX LTD. を通じての販売を開始しております。

当第 3 四半期においては、プレイステーション 2 (PS2) 向けの「FINAL FANTASY XII」（北米 166 万本：平成 18 年 12 月末現在、以下同じ）、「KINGDOM HEARTS II」（欧州 69 万本）、「ヴァルキリープロファイル 2 -シルメリア-」（国内 42 万本、北米 16 万本）、「DIRGE OF CERBERUS -FINAL FANTASY VII-」（北米 45 万本、欧州 25 万本）、「Dragon Quest: The Journey of the Cursed King」（欧州 45 万本）、ニンテンドーDS 向けの「ファイナルファンタジー III」（国内 95 万本、北米 34 万本）、「ドラゴンクエストモンスターズ ジョーカー」（国内 91 万本）、などを新たに発売いたしました。また、廉価版の発売が国内、海外ともに好調に推移いたしました。

当事業における当第 3 四半期の売上高は 402 億 98 百万円（前年同期比 90.1%増）となり、営業利益は 138 億 24 百万円（前年同期比-）となりました。

オンラインゲーム事業

ネットワークに接続することを前提としたオンラインゲームサービスの企画、開発、販売及び運営を行っております。当第3四半期は、引き続き日米欧の合計で約50万人の会員を獲得しているMMORPG (Massively Multi-player Online RPG) 「ファイナルファンタジーXI」の新たな拡張ディスク「ファイナルファンタジーXI アトルガンの秘宝」を日米欧で発売し、これと同時にXBOX360への対応も開始いたしました。

当事業における当第3四半期の売上高は105億68百万円（前年同期比9.8%増）となり、営業利益は49億98百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

モバイル・コンテンツ事業

携帯電話向けコンテンツの企画、開発及び運営を行っており、着信メロディ、待受画面、ゲーム、ポータルサービスなど様々なモバイル・コンテンツサービスを提供しております。当第3四半期においても引き続き、「ドラゴンクエスト」、「ファイナルファンタジー」のポータルサービス等を中心に当社のオリジナルコンテンツの強みを生かした取組みを展開しております。

当事業における当第3四半期の売上高は43億96百万円（前年同期比20.1%増）となり、営業利益は7億24百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

出版事業

コミック雑誌、単行本をはじめ、ゲーム攻略本等ゲーム関連書籍の出版事業を行っております。

当第3四半期は、「月刊少年ガンガン」、「月刊Gファンタジー」、「月刊ガンガンWING」及び「ヤングガンガン」の定期刊行誌に加え、各定期刊行誌で連載されているコミック単行本やゲームガイドブック等の発売を行ってまいりました。また、ゲーム事業で平成18年3月に国内で発売した「ファイナルファンタジーXII」の大型攻略本の発売を行っております。

当事業における当第3四半期の売上高は81億35百万円（前年同期比16.7%増）となり、営業利益は25億55百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

AM等事業

平成17年9月末に連結対象となったタイトーグループの全ての業績と、タイトーの連結グループ化に伴って生じたのれんの償却を当セグメントに計上しております。なお、タイトーグループの損益は、平成17年10月より連結対象となっております。

当第3四半期におきましては、抜本的な事業体制の見直しを進めている中で、7月に業務用カラオケ機器部門の売却を行っており、効率化を推進しているものの、主として売却までの業務用カラオケ機器部門の不振と、家庭用ゲームソフト部門等の不振を主力であるアミューズメント施設運営部門等でカバーするに至らず、利益面では厳しいものとなりました。

当事業における当第3四半期の売上高は563億69百万円（前年同期比168.6%増）となり、営業損失は7億54百万円（前年同期比―）となりました。（前年は、平成17年10月-平成17年12月の3ヶ月間のみ）

その他事業

主に当社コンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス使用、ゲーム制作技術者養成スクールの運営等を行っております。

当第3四半期におきましては、前連結会計年度に国内で発売した映像作品「ファイナルファンタジーVII アドベントチルドレン」が海外で発売され、国内を上回る販売枚数を記録しており、このライセンス収入が計上されております。

当事業における当第3四半期の売上高は32億67百万円（前年同期比50.1%減）となり、営業利益は12億97百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期 第3四半期	208,498	128,141	60.9	1,150 70
18年3月期 第3四半期	192,247	108,049	56.2	977 73
(参考)18年3月期	213,348	120,993	56.7	1,094 50

(注) 18年3月期第3四半期および18年3月期の純資産には、少数株主持分を含めておりません。

【連結キャッシュフローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期 第3四半期	18,070	△3,135	△2,993	87,546
18年3月期 第3四半期	△10,074	△56,828	44,159	59,030
(参考)18年3月期	9,174	△60,039	44,153	75,252

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における現金及び現金同等物の期末残高は875億46百万円となりました。
当第3四半期末におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前純利益が187億92百万円となったほか、売掛債権の回収、法人税等の支払いなどの結果、営業活動により獲得したキャッシュ・フローは180億70百万円となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用したキャッシュ・フローは、31億35百万円となりました。主なものは有形固定資産、無形固定資産の取得による支出および子会社の株式会社タイトーにおける業務用カラオケ事業の売却収入であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用したキャッシュ・フローは、29億93百万円となりました。これは、主として配当金の支払によるものであります。

3. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想(連結・個別)

19 年 3 月期の連結業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	160,000	22,000	11,000

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 99 円 69 銭

19 年 3 月期の業績予想 (個別) (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	59,000	16,000	10,000

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 90 円 63 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

ゲーム事業、オンラインゲーム事業、モバイル・コンテンツ事業、出版事業、その他事業が好調に推移しており、連結業績、個別業績ともに前回発表予想を上回る見込みになりました。なお、AM 等事業は、来期以降の業績回復および拡大に向けた抜本的な改革を行っており、当期中に財務的処理の太宗を完了するべく改革を進めております。

従いまして、売上高、経常利益は好調に推移しているものの、AM 等事業の財務的処理も見込まれることから、現時点での連結当期純利益は前回発表予想を据え置いております。

上記の連結及び個別の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

○添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表

(要約) 四半期連結損益計算書

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

セグメント情報

以 上

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増減		(参考) (平成18年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	87,551	59,035	28,516	48.3	75,257
2. 受取手形及び売掛金	28,107	27,245	862	3.2	33,215
3. たな卸資産	5,825	6,866	△1,041	△15.2	5,489
4. コンテンツ制作勘定	10,271	14,545	△4,274	△29.4	7,312
5. 繰延税金資産	2,142	2,174	△31	△1.4	7,877
6. その他引当金	3,389	5,548	△2,158	△38.9	3,968
7. 貸倒引当金	△434	△639	205	△32.1	△868
流動資産合計	136,854	114,776	22,077	19.2	132,251
II 固定資産					
1. 有形固定資産	27,069	31,225	△4,155	△13.3	29,995
2. 無形固定資産	22,141	22,231	△89	△0.4	25,389
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	1,085	1,443	△357	△24.8	1,459
(2) 長期貸付金	174	10	163	-	173
(3) 差入保証金	16,962	17,873	△911	△5.1	17,361
(4) 建設協力金	1,913	2,186	△272	△12.5	2,158
(5) 破産更生債権	2,210	2,292	△81	△3.6	2,240
(6) 繰延税金資産	5,259	3,251	2,008	61.8	6,523
(7) その他引当金	583	1,247	△663	△53.2	533
8. 貸倒引当金	△5,756	△4,291	△1,465	34.2	△4,738
9. 投資その他の資産合計	22,432	24,013	△1,580	△6.6	25,712
固定資産合計	71,644	77,470	△5,826	△7.5	81,097
資産合計	208,498	192,247	16,250	8.5	213,348
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	11,007	12,763	△1,756	△13.8	12,124
2. 未払金	2,387	2,308	78	3.4	6,509
3. 未払費用	4,877	5,744	△866	△15.1	6,413
4. 未払法人税等	1,785	790	994	125.8	4,848
5. 前受金	1,027	930	96	10.4	991
6. 預り金	793	697	95	13.8	421
7. 賞与引当金	755	923	△167	△18.2	2,648
8. 返品調整引当金	1,869	1,199	669	55.8	1,186
9. 店舗閉鎖損失引当金	223	139	84	60.7	292
10. その他引当金	2,619	1,502	1,116	74.3	2,405
流動負債合計	27,346	27,000	345	1.3	37,840
II 固定負債					
1. 社債	50,000	50,000	-	-	50,000
2. 退職給付引当金	2,590	3,103	△512	△16.5	3,001
3. その他引当金	420	376	43	11.7	392
固定負債合計	53,011	53,480	△468	△0.9	53,394
負債合計	80,357	80,481	△123	△0.2	91,234
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	3,717	-	-	1,120
(資本の部)					
I 資本金	-	7,757	-	-	7,803
II 資本剰余金	-	36,998	-	-	37,044
III 利益剰余金	-	63,236	-	-	76,022
IV その他有価証券評価差額金	-	552	-	-	531
V 為替換算調整勘定	-	△7	-	-	97
VI 自己株式	-	△489	-	-	△506
資本合計	-	108,049	-	-	120,993
負債、少数株主持分及び資本合計	-	192,247	-	-	213,348
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	7,937	-	-	-	-
2. 資本剰余金	37,178	-	-	-	-
3. 利益剰余金	81,790	-	-	-	-
4. 自己株式	△528	-	-	-	-
株主資本合計	126,379	-	-	-	-
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	210	-	-	-	-
2. 為替換算調整勘定	382	-	-	-	-
評価・換算差額等合計	592	-	-	-	-
III 少数株主持分	1,169	-	-	-	-
純資産合計	128,141	-	-	-	-
負債純資産合計	208,498	-	-	-	-

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科目	当四半期	前年同四半期	増減		(参考)
	(平成19年3月期 第3四半期)	(平成18年3月期 第3四半期)			(平成18年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上	123,035	68,994	54,040	78.3	124,473
II 売上原価	64,780	37,902	26,878	70.9	68,105
売上総利益	58,254	31,091	27,162	87.4	56,367
返品調整引当金	1,186	1,316	△129	△9.8	1,316
差引売上引当金	1,869	1,199	669	55.8	1,186
III 販売費及び一般管理費	57,572	31,208	26,363	84.5	56,497
営業利益	37,916	24,873	13,042	52.4	41,026
IV 営業外収益	19,656	6,334	13,321	210.3	15,470
V 営業外費用	979	845	133	15.7	1,046
VI 特別利益	406	244	162	66.4	968
VII 特別損失	20,228	6,936	13,292	191.6	15,547
税引前純利益	2,990	1,359	1,630	120.0	1,361
名目損益	4,410	1,150	3,260	283.4	7,878
調整前当期純利益	18,808	7,145	11,662	163.2	9,031
調整後当期純利益	15	31	△16	△52.3	40
法人税等	18,792	7,113	11,679	164.2	8,990
法人住民税等	3,556	917	2,638	287.5	1,835
法人税等	△117	△906	788	△87.0	△912
少数株主利益	6,231	2,541	3,690	145.2	△9,039
四半期(当期)純利益	26	269	△242	△90.0	31
	9,095	4,291	4,803	111.9	17,076

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成19年3月期 第3四半期)	(平成18年3月期 第3四半期)	(平成18年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	18,792	7,113	8,990
税金等調整前当期純利益	8,120	3,964	8,419
減価償却	4,075	△10,577	△16,330
たな卸資産の増減	△3,401	343	9,140
仕入債権の増減	△324	2,661	1,797
未払消費税の増減	△604	△657	102
その他流動資産の増減	269	△1,462	57
その他流動負債の増減	1,188	△291	358
その他流動負債の増減	△4,432	△983	391
法人税等の支払	△5,686	△9,333	△10,054
その他	73	△852	6,300
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	18,070	△10,074	9,174
有形固定資産の取得	△8,226	△4,662	△8,258
無形固定資産の取得	△299	△218	△340
事業譲渡による収入	-	1,504	1,504
関係会社株式の取得	4,645	-	-
連結子会社株式の取得	△63	-	△53,747
差入保証金の返入	-	△53,752	-
差入保証金の差入	948	504	1,160
その他	△325	△174	△234
投資活動によるキャッシュ・フロー	185	△29	△122
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,135	△56,828	△60,039
配当金の支払	△3,237	△6,398	△6,617
短期借入による収入	-	-	40,000
短期借入の返済	-	-	△40,000
社債発行による収入	-	50,000	50,000
社債併交の支払	-	-	-
その他	243	558	771
IV 現金及び現金同等物の増加	△2,993	44,159	44,153
V 現金及び現金同等物の増加	339	529	719
VI 現金及び現金同等物の増加	12,281	△22,213	△5,991
VII 新規連結子会社の増加	75,252	81,243	81,243
VIII 現金及び現金同等物の増加	13	-	-
現金及び現金同等物期末残高	87,546	59,030	75,252

1. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期（自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	ゲーム事業	オンラインゲーム事業	モバイル・コンテンツ事業	出版事業	AM等事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
I売上高及び営業損益									
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	21,199	9,623	3,659	6,968	20,988	6,554	68,994	-	68,994
(2) セグメント間の内部売上高及び振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	21,199	9,623	3,659	6,968	20,988	6,554	68,994	-	68,994
営業費用	20,225	5,877	2,922	5,162	21,223	4,408	59,820	2,839	62,659
営業利益	974	3,746	736	1,805	△234	2,145	9,174	△2,839	6,334

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品または商品の系列および市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な商製品

事業区分	主要な商製品
ゲーム事業	ゲーム
オンラインゲーム事業	オンラインゲーム
モバイル・コンテンツ事業	携帯電話向けのコンテンツ
出版事業	コミック雑誌、コミック単行本、ゲーム関連書籍等
AM等事業	株式会社タイトーのオペレーションレンタル、製品・商品販売、コンテンツサービス等の全事業（平成17年10月-12月）
その他事業	キャラクターグッズ等の二次的著作物、ゲーム制作技術者養成スクール

3. 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、2,839百万円であり、その主なものは当社の管理部門等に係る費用であります。

当第3四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	ゲーム事業	オンラインゲーム事業	モバイル・コンテンツ事業	出版事業	AM等事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
I売上高及び営業損益									
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	40,298	10,568	4,396	8,135	56,369	3,267	123,035	-	123,035
(2) セグメント間の内部売上高及び振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	40,298	10,568	4,396	8,135	56,369	3,267	123,035	-	123,035
営業費用	26,473	5,570	3,671	5,580	57,123	1,970	100,390	2,989	103,379
営業利益	13,824	4,998	724	2,555	△754	1,297	22,645	△2,989	19,656

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品または商品の系列および市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な商製品

事業区分	主要な商製品
ゲーム事業	ゲーム
オンラインゲーム事業	オンラインゲーム
モバイル・コンテンツ事業	携帯電話向けのコンテンツ
出版事業	コミック雑誌、コミック単行本、ゲーム関連書籍等
AM等事業	株式会社タイトーのオペレーションレンタル、製品・商品販売、コンテンツサービス等の全事業
その他事業	キャラクターグッズ等の二次的著作物、ゲーム制作技術者養成スクール

3. 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、2,989百万円であり、その主なものは当社の管理部門等に係る費用であります。

〔添付資料〕

2. 所在地別セグメント情報

前第3四半期（自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	日 本	北 米	欧 州	ア ジ ア	計	消 去 又 は 全 社	連 結
I売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	59,729	7,132	311	1,821	68,994	-	68,994
(2) セグメント間の内部売上高及び振替高	2,013	406	287	-	2,707	△2,707	-
計	61,742	7,539	598	1,821	71,701	△2,707	68,994
営業費用	56,816	6,893	498	1,159	65,367	△2,707	62,659
営業利益	4,926	645	100	662	6,334	-	6,334

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北 米……………アメリカ

(2) 欧 州……………イギリス

(3) アジア……………中国、韓国

3. 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

当第3四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	日 本	北 米	欧 州	ア ジ ア	計	消 去 又 は 全 社	連 結
I売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	95,552	20,698	6,022	762	123,035	-	123,035
(2) セグメント間の内部売上高及び振替高	7,672	638	256	8	8,575	△8,575	-
計	103,224	21,336	6,279	771	131,610	△8,575	123,035
営業費用	89,378	15,827	5,461	1,287	111,954	△8,575	103,379
営業利益	13,845	5,509	817	△516	19,656	-	19,656

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北 米……………アメリカ

(2) 欧 州……………イギリス

(3) アジア……………中国、韓国

3. 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。